

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2023年8月14日

**【四半期会計期間】** 第14期第2四半期（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

**【会社名】** メディアスホールディングス株式会社

**【英訳名】** MEDIUS HOLDINGS Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 池谷保彦

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号

**【電話番号】** 03-6811-2958(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川浩之

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号

**【電話番号】** 03-6811-2958(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川浩之

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）における代理人取引の集計の一部に誤りが発見されました。

これに伴い、2023年2月9日に提出いたしました第14期第2四半期（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）四半期報告書に訂正すべき事項が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 【企業情報】

#### 第1 【企業の概況】

##### 1 【主要な経営指標等の推移】

#### 第2 【事業の状況】

##### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

###### (1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

#### 第4 【経理の状況】

##### 1 【四半期連結財務諸表】

###### (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

##### 【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(収益認識関係)

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第13期 第2四半期 連結累計期間	第14期 第2四半期 連結累計期間	第13期
会計期間	自 2021年7月1日 至 2021年12月31日	自 2022年7月1日 至 2022年12月31日	自 2021年7月1日 至 2022年6月30日
売上高 (千円)	109,721,349	115,807,217	221,694,333

(訂正後)

回次	第13期 第2四半期 連結累計期間	第14期 第2四半期 連結累計期間	第13期
会計期間	自 2021年7月1日 至 2021年12月31日	自 2022年7月1日 至 2022年12月31日	自 2021年7月1日 至 2022年6月30日
売上高 (千円)	112,291,320	118,304,409	226,606,414

### 第2 【事業の状況】

#### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

##### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績の状況

(訂正前)

(省略)

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は115,807百万円(前年同四半期比5.5%増)、営業利益は1,097百万円(同34.5%減)、経常利益は1,342百万円(同30.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は859百万円(同39.9%減)となりました。

(省略)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

##### (医療機器販売事業)

医療機器販売事業における消耗品につきましては、新型コロナウイルスの検査に係る試薬は需要の落ち着いたに伴い販売が減少したものの、PPE(個人用防護具)の販売は引き続き好調に推移し、手術室関連製品の販売が拡大したことに加え、前期に受託したSPDに関する販売により、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加しました。備品につきましても、医療機関における設備投資が活発化してきており、放射線機器等の大型備品の販売により好調に推移しました。一方、事業規模拡大に伴うコスト増加や(株)栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費等の発生により、セグメント利益は減益となりました。

この結果、売上高は113,086百万円(前年同四半期比5.7%増)、売上総利益は13,367百万円(同7.7%増)、セグメント利益(営業利益)は、4,570百万円(同3.4%減)となりました。

(訂正後)

(省略)

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は118,304百万円(前年同四半期比5.4%増)、営業利益は1,097百万円(同34.5%減)、経常利益は1,342百万円(同30.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は859百万円(同39.9%減)となりました。

(省略)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(医療機器販売事業)

医療機器販売事業における消耗品につきましては、新型コロナウイルスの検査に係る試薬は需要の落ち着きに伴い販売が減少したものの、PPE(個人用防護具)の販売は引き続き好調に推移し、手術室関連製品の販売が拡大したことに加え、前期に受託したSPDに関する販売により、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加しました。備品につきましても、医療機関における設備投資が活発化してきており、放射線機器等の大型備品の販売により好調に推移しました。一方、事業規模拡大に伴うコスト増加や(株)栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費等の発生により、セグメント利益は減益となりました。

この結果、売上高は115,583百万円(前年同四半期比5.5%増)、売上総利益は13,367百万円(同7.7%増)、セグメント利益(営業利益)は、4,570百万円(同3.4%減)となりました。

## 第4 【経理の状況】

### 1 【四半期連結財務諸表】

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	109,721,349	115,807,217
売上原価	96,256,167	101,385,568
売上総利益	13,465,182	14,421,648

(訂正後)

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	112,291,320	118,304,409
売上原価	98,826,138	103,882,760
売上総利益	13,465,182	14,421,648

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	106,989,440	2,731,908	109,721,349	-	109,721,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	106,989,440	2,731,908	109,721,349	-	109,721,349
セグメント利益	4,732,717	278,354	5,011,072	3,335,621	1,675,450

当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	113,086,398	2,720,819	115,807,217	-	115,807,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81	-	81	81	-
計	113,086,479	2,720,819	115,807,299	81	115,807,217
セグメント利益	4,570,965	196,621	4,767,586	3,670,245	1,097,341

(訂正後)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	109,559,411	2,731,908	112,291,320	-	112,291,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	109,559,411	2,731,908	112,291,320	-	112,291,320
セグメント利益	4,732,717	278,354	5,011,072	3,335,621	1,675,450

当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	115,583,589	2,720,819	118,304,409	-	118,304,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81	-	81	81	-
計	115,583,671	2,720,819	118,304,490	81	118,304,409
セグメント利益	4,570,965	196,621	4,767,586	3,670,245	1,097,341

(収益認識関係)

(訂正前)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計
消耗品	91,266,244	2,209,643	93,475,888
備品	13,955,781	368,246	14,324,027
その他	1,767,414	154,019	1,921,433
顧客との契約から生じる収益	106,989,440	2,731,908	109,721,349
外部顧客への売上高	106,989,440	2,731,908	109,721,349

当第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計
消耗品	96,133,274	2,323,494	98,456,768
備品	15,014,670	245,628	15,260,298
その他	1,938,453	151,696	2,090,150
顧客との契約から生じる収益	113,086,398	2,720,819	115,807,217
外部顧客への売上高	113,086,398	2,720,819	115,807,217

(訂正後)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計
消耗品	93,874,196	2,209,643	96,083,840
備品	13,938,691	368,246	14,306,937
その他	1,746,523	154,019	1,900,542
顧客との契約から生じる収益	109,559,411	2,731,908	112,291,320
外部顧客への売上高	109,559,411	2,731,908	112,291,320

当第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計
消耗品	98,600,766	2,323,494	100,924,260
備品	15,010,277	245,628	15,255,905
その他	1,972,545	151,696	2,124,242
顧客との契約から生じる収益	115,583,589	2,720,819	118,304,409
外部顧客への売上高	115,583,589	2,720,819	118,304,409